

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社
 コード番号 2488 URL <http://www.jtp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 和昭
 (氏名) 高島 隆明

TEL 03-6408-2488

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,346	△11.4	6	—	3	—	△21	—
24年3月期第3四半期	3,775	△3.5	△61	—	△74	—	△88	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △20百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△418.06	—
24年3月期第3四半期	△1,669.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,813	1,712	60.8
24年3月期	3,082	1,833	59.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,712百万円 24年3月期 1,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△9.2	160	106.2	155	128.4	95	—	1,832.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	60,156 株	24年3月期	60,156 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,301 株	24年3月期	8,301 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	51,855 株	24年3月期3Q	52,799 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日）における我が国経済は、東日本大震災からの復興に伴う復旧整備業務で、国内のインフラ関連事業の請負企業などでは特別需要の動きがみられるものの、欧州に端を発する世界的な景気不安定な状況が続いておりました。しかしながら、昨年末の衆議院解散に伴う政権交代による景気対策への期待感から為替相場の円安基調への転換、株式相場の上昇等、景気回復に対する期待感が高まりつつあります。

この様に社会情勢が大きく変化する状況の中で当社グループは、急速にグローバル化が進むICT業界にあって、世界の誰もが参加し競い合うクラウド社会で活躍するための事業変革にこれまで大きな投資を行い、準備を進めて参りました。また、この目指すべき事業の競合会社は、国内ではなく海外企業をその対象として捉え、体質の強化を図りつつ「日本のサービス品質を、アジア価格で」をモットーに事業の収益改善に取り組みました。当社は、昨年10月31日の創立25周年を機に、新たな自社ブランドの世界共通のITスキルアセスメントとして“GAIT”（Global Assessment of Information Technology）の提供を開始すると同時に当社の創業時からの取引先であったサン・マイクロシステムズ社の創業者であるスコット・マクネリ氏が開発した“Wayin”（Webサイト上で実施できるオンライン・サーベイ（Webアンケート））の販売代理店契約を締結し、日本でのサービス体制の構築に着手いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,346,008千円（前年同期比11.4%減）となり、利益面につきましては、前連結会計年度に実施した本社移転等の固定経費削減施策等により営業利益は6,048千円（前年同期は61,164千円の営業損失）となりました。また、営業外費用として支払利息、貸倒損失の計上等により経常利益は3,753千円（前年同期は74,426千円の経常損失）、税金等調整前四半期純損失は6,927千円（前年同期は84,388千円の税金等調整前四半期純損失）、四半期純損失は21,678千円（前年同期は88,166千円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

①ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門においては、原価の圧縮（賃借料や外注費等）を図り、利益改善に努めました。ソフトウェア開発部門においては、取引先の会社更生法の適用申請等により、受託業務の縮小懸念もありましたが、概ね堅調に推移いたしました。また、ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、赤字が続いていた受託業務の契約解除により売上は減少いたしました。収益は改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,336,200千円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益は106,900千円（前年同期は76,313千円のセグメント損失）となりました。

②フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門において、既存のコンピュータ保守業務の減少を補うべく、営業サポート業務やITベンダのシステム増設等に伴うネットワーク工事の受託を推進いたしました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器や分析装置の保守、設置業務に加え、前連結会計年度より放射線検査機器の取り扱いを開始いたしました。既存の保守業務の減少を補うまでには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,458,858千円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は268,741千円（前年同期比18.7%減）となりました。

③ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、顧客からの値引き要求受入れにより利益が減少いたしました。リペアセンタ部門については、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は548,749千円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は62,063千円（前年同期比7.6%減）となりました。

④その他

国内子会社であったデータ・エントリー・ソリューション株式会社の清算（平成24年3月）により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,199千円（前年同期比66.0%減）、セグメント損失は5,562千円（前年同期は12,708千円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し269,115千円減少し2,813,682千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し252,497千円減少し2,137,367千円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し16,618千円減少し676,315千円となりました。これは主に、減価償却費の計上による有形固定資産、無形固定資産の減少であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し147,766千円減少し1,101,583千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し131,088千円減少し547,011千円となりました。これは主に、買掛金、賞与引当金の減少によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し16,677千円減少し554,571千円となりました。これは主に、長期未払金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し121,349千円減少し1,712,099千円となりました。これは主に、配当金の支払による利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、フィールド・ソリューション事業に属するITPセールス株式会社の全株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。この結果、当社グループは、当社、子会社4社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,273	1,058,769
受取手形及び売掛金	924,566	721,167
商品	53,686	124,484
仕掛品	2,472	9,127
原材料及び貯蔵品	8,113	13,079
その他	216,037	220,324
貸倒引当金	△12,286	△9,585
流動資産合計	2,389,864	2,137,367
固定資産		
有形固定資産	158,362	150,401
無形固定資産	150,522	131,656
投資その他の資産		
その他	417,480	427,688
貸倒引当金	△33,431	△33,431
投資その他の資産合計	384,049	394,257
固定資産合計	692,933	676,315
資産合計	3,082,797	2,813,682
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,287	73,978
未払法人税等	15,040	14,717
賞与引当金	160,140	80,205
役員賞与引当金	5,257	13,500
その他	351,375	364,611
流動負債合計	678,100	547,011
固定負債		
退職給付引当金	483,908	496,760
その他	87,339	57,811
固定負債合計	571,248	554,571
負債合計	1,249,349	1,101,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	822,489	700,159
自己株式	△422,008	△422,008
株主資本合計	1,843,130	1,720,801
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,682	△8,701
その他の包括利益累計額合計	△9,682	△8,701
純資産合計	1,833,448	1,712,099
負債純資産合計	3,082,797	2,813,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	3,775,637	3,346,008
売上原価	3,411,446	2,854,648
売上総利益	364,190	491,359
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	101,220	118,363
賞与引当金繰入額	4,951	5,489
役員賞与引当金繰入額	12,000	13,500
退職給付引当金繰入額	1,996	3,276
その他	305,187	344,682
販売費及び一般管理費合計	425,355	485,311
営業利益又は営業損失(△)	△61,164	6,048
営業外収益		
受取利息	178	96
受取保険金	2,500	—
為替差益	—	900
その他	1,067	85
営業外収益合計	3,745	1,082
営業外費用		
支払利息	1,596	1,161
貸倒損失	—	1,426
為替差損	14,952	—
訴訟和解金	—	701
その他	459	88
営業外費用合計	17,007	3,377
経常利益又は経常損失(△)	△74,426	3,753
特別利益		
債務消滅益	3,578	—
特別利益合計	3,578	—
特別損失		
子会社株式売却損	—	1,450
事務所移転費用	13,540	9,230
特別損失合計	13,540	10,680
税金等調整前四半期純損失(△)	△84,388	△6,927
法人税、住民税及び事業税	8,149	5,674
法人税等調整額	△4,370	9,077
法人税等合計	3,778	14,751
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88,166	△21,678
四半期純損失(△)	△88,166	△21,678

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88,166	△21,678
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,496	980
その他の包括利益合計	△1,496	980
四半期包括利益	△89,662	△20,698
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,662	△20,698
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。